

【教育目標】 自律と協調の精神を養い、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成
～ 知性・品性・感性あふるる豊城中 ～

【研究主題】 自らを客観視し、最適な学びを自己決定できる生徒の育成(研究二年目)
～世界(ひと・もの・こと)との関わり合いによる考えの再構築の繰り返しを通して～

自尊心や利他心を育み

しなやかな心の醸成

自ら学ぶ意欲を高め

活用できる学力の育成

- 「聴く力と伝える力」を育成します
 - ▶ 他者意識をもって表現できるようにします。
 - ▶ 「学びに向かう三箇条」を生徒と教師が共有します。
 - ゆとり着席／親和的な聴き方／工夫した伝え方
 - ▶ 安心して授業に臨める環境を整え、学習効果を高めます。
 - 授業のUD化…五つの指導技術・人的環境・教室環境
ひきつける、結びつける、方向づける、揃える(共有化)
わかった・できたと実感させる授業
- 自ら学ぶ意欲を高められるように指導・支援します
 - ▶ 「わかる」楽しさ、「仲間と関わる」楽しさ、「身につけた知識を使える」楽しさを体感できる場面をつくります。
 - ▶ 目的別コース選択制の少人数指導(数学、英語)を充実・発展します。
 - ▶ 「一時一笑(interesting)」を実践し、授業内で1回以上、笑える場面を演出します。

【目指す生徒の姿と備える力】

◇ 自ら考え行動できる生徒【知】

- (1) 自らよい行いをする力
- (2) 他者意識をもって表現する力

◇ 思いやりのある生徒【徳】

- (1) 自他の価値や存在意義を肯定的に捉える力
- (2) 人間関係が円滑になるコミュニケーション力

◇ ねばり強い生徒【体】

- (1) 感情をコントロールして問題に立ち向かう力
- (2) 多様な他者と力を合わせてよりよいものを創出し続けようとする力

- 「心を耕し、成長の種を蒔く」教育を推進します
 - ▶ ポジティブ語や肯定語を多用します。
 - ▶ 異なる存在や価値観を受け止める(入れる)土壌をつくります。
 - ▶ 善い行い(行動化)をするための心を育成します。
- 生活三つの心づかい(時・場・礼)を常態化します
 - ▶ 時間を守る ▶ 美化(黙動清掃)に努める ▶ 先に挨拶する
- 困っている生徒に寄り添う指導を心がけます
 - ▶ いじめ、不登校、発達障害の理解と未然防止に努め、学校組織として、すばやく誠実な対応に努めます。
 - ▶ 日々の観察や生活ノート、個人面談等で生徒理解に努めます。

危機発生時の対応力育成

- 危機発生時の対応力(行動力)を育成します
 - ▶ 外部専門機関の指導や助言を学校教育にいかします。
 - ▶ 火災や地震、不審者対策を想定内に位置づけ、実効性の高い訓練を実施します。
 - 中学生は救助員の一人として、自他の命を守る意識をもつ
- 「いのちに優る教育活動なし」を教職員の合い言葉とし、安全管理や安全指導に努めます

笑顔あふるる職員室

教職員の幸せ ➡ 生徒への「無償の愛」

専門性の高い教職員集団の育成

- 教職員の個性を組み合わせ、スクラムを組んで教育にあたります
 - ▶ 同僚性をいかし、互いの授業観察や教育談義を常態化します。
 - ▶ 他者(教職員・生徒)を生かすプラス言動を心がけます。
- 全教職員で全生徒に関わるようにします
 - ▶ 美点凝視を心がけ、生徒のよい面を伸ばします。
 - ▶ 適宜、保護者と対話(電話)するように心がけます。
 - ▶ 学校教育(管理・指導)の原点を「生徒と教室」に置きます。

- 主体的に研修(研究と修養)に努め、自分磨きに励みます
 - ▶ メタ認知及び非認知能力を熟知して教科・領域指導に織り込みます。
 - ▶ 指導技術の研究に終始せず人間力を高める修養にも尽力します。
 - ▶ 生徒が学びたくなるような授業を創出できるように努めます。
 - 生徒の言動で授業を展開できるように、研修を重ねていきます。
- タブレット端末の学習道具化を推進します

- 出合いを大切にして、保護者・地域社会の信頼を得るようにします
 - ▶ 来校者には、必ず声をかけさせていただきます。
 - ▶ 来客(業者含む)への挨拶、電話の応対を誠実にを行います。
- 危機対応力を備え、チーム豊城として臨みます
 - ▶ 首上(頭、眼、歯)のけがは、救急車を要請するようにします。
 - ▶ アレルギーとそれを有する生徒を理解し、複数の目で対応します。